

8月15日 西教寺長ノ木本坊～八月歓喜会での話のレジュメ～

## (お話の題) 戦後の呉がたどった道

話し手 日本ユーラシア協会:是恒 高志

### 1 まくらの話～何十年かぶりの「呉空襲展」～

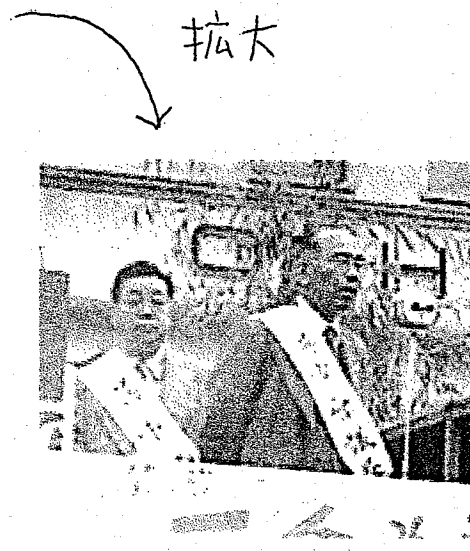
今年、何十年かぶりに「呉空襲展」を開催しました。その一部を、岩崎さんのご厚意で8月13日から明日までここで展示していますので、ぜひご覧ください。

### 2 つなぎの話～悲惨な戦争の体験と記憶が平和の原点～

- ・5月5日の広航空廠への空襲で動員学徒を引率していた教師の証言
- ・7月1～2日の呉市街地空襲、東畑国民学校の校長の証言
- ・郵便局員だった三上さんの証言

### 3 本題～鈴木術(てだて)という人について～

さて、「鈴木市長をさがせ！」です



鈴木術の頌徳碑は二河狭公園にあります～それによると…



- 1901 (明治 34) 年 3月 21日 吉浦町に生まれる。  
呉中学校、東京帝国大学に進学。
- 1923 (大正 13) 年頃 商工省に入る。
- 1941 (昭和 16) 年 太平洋戦争中は企業整備本部長として戦時経済の運営を担う。
- 1946 (昭和 21) 年 初代公選市長として呉市の復興に携わる。

1950 (昭和 25) 年 6 月 旧軍港市轉換法の成立に尽力し、平和産業港湾都市としての発展の礎を確立する。

1956 (昭和 31) 年度より 7 か年の市政に携わったのち広島県教育委員長の任に就く。

※1949 年から 1956 年 3 月まで

1965 (昭和 40) 年 5 月 23 日 逝く。享年 65 歳。

はて？ 戦時中は「企業整備本部長・・・」というのは、戦時統制経済を取り仕切る重要な役所、資源と人員を軍需生産につぎ込む、いわば、戦時体制を担ったといえるでしょう。

戦後、企業整備本部は解散、鈴木術さんは 1949 (昭和 24) 年の公選市長選に「郷土の懇情に応じて・・・」出馬し、当選しました。そして、呉の復興に尽力するわけです。

そして、当時の呉市はどんな状態かと言えは・・・

●まず、焼け野原。周りの山も枕崎台風の土石流の跡がなまなましい。

●つぎに、海軍も工場もなくなって失業者があふれている。人口は 40 万人から 18 万人に。

●そして、原料 (鉄くず) だけはいっぱいあるのに、自由に操業 (そうぎょう) させてくれないそれは、呉を占領していた英連邦軍が許可してくれないから。

◎そういうなか、旧軍港市轉換法の成立のために獅子奮迅の努力をしたのです。

#### 旧軍港市 4 市長による国会請願(1950 年 3 月ごろ)

旧軍港市であった 4 市は、かつて日本海軍の重要な根拠地として、鎮守府の置かれてあった処であり・・・「国策的に施設し、軍と表裏一体となつて発展してきた特異的な性格の都市であります」。「敗戦という悲惨な終末は・・・これら軍都をしてその存立の意義を失わしめたのであります」。「4 市はここに百八十度の転回をもつて旧軍港施設を平和目的に轉換活用し、速やかに産業港湾都市として各々立市することを市民大会により決議宣言したので・・・」

ついに、1950 (昭和 25) 年 6 月 4 日の住民投票で、投票率 82.2%、賛成票 95.7% という圧倒的な賛成で成立させたのです。

#### 鈴木術市長が行ったこと(その2)

また、1952 (昭和 27) 年、市制 50 周年記念事業として新生呉市のための「新・呉市歌」を公募します。その結果、次の歌が呉市歌になりました。

- 1 瀬戸の海 歴史を秘めて / よみがえる 平和をここに / いま若き 世代の朝を  
波に呼ぶ 希望の波に / いざわれら 明るく起ちて / おお仰がん 光 光の呉市
- 2 灰が峰 木魂も冴えて / 鳴りわたる 汽車をここに / いま高く 雄飛の明日を  
空に呼ぶ 自由の空に / いざわれら 明るく起ちて / おお謳わん 力 力の呉市
- 3 人の和と 地の利を占めて / 栄えゆく 郷土をここに / いな永く 久遠の幸を  
旗に呼ぶ 使命の旗に / いざわれら 明るく起ちて / 平和 平和の呉市

## そして、もう一つの「呉市歌」(旧とよびたいが…)

「旧・呉市歌」は昭和天皇のご大典記念として呉日日新聞が実施した大呉市歌の懸賞募集に当選してできたものです。この呉市歌は呉日日新聞より呉市に寄贈され、昭和3(1928)年12月27日に正式に呉市歌として告示されました。

- 1 大和島根の瀬戸の海に / 久遠の光仰ぐ国 / ああ新潮の高鳴りに  
天翔けりゆく鳳や / 呉市 呉市 大呉市
- 2 二河の流れいや浄く / 灰が雄峰のいや高き / めぐしき自治のわが呉市  
愛と正義の光あれ / 呉市 呉市 大呉市
- 3 聴け芸陽の天高く / 愛国の鐘鳴り響く / ここぞわれらの理想の地  
共に讃へむ大呉市 / 呉市 呉市 大呉市

### ことばのメモ

大和島根＝日本のこと。 久遠＝永遠。 鳳＝鳳凰のような大きな鳥

”愛と正義“＝愛国の”愛“と乱暴な支那(中国)と鬼畜米英をやっつける”正義“の戦争に  
”愛国の鐘“＝工廠の兵器を造る工場のカネの音

## 戦後、歌われなくなったのですが…

戦後の呉は、「軍転法」「新市歌」「平和なまち(平和産業港湾都市)をめざす一方、「全国10大都市の一つだった」、「海軍とともに栄えたまち」を懐かしむ動きがありました。

### 1953(昭和28)年5月市議会での保守系議員の質問

「呉市歌は、戦前からあったのでありますが、それはただいまどういふうになっているのか…私の調べるところによると、この呉市歌(旧)は市会において議決をされておるのであります。その議決がまだ廃止あるいは更生になったのを聞いてはおらないのであります。そうすると呉市歌がなければならぬ、私はこう考えますので聞いておるのであります。」

↓

### これに対する呉市総務部長の答弁

「…市会がこれを採択された。すなわち議決されたと記憶致しております…従いまして市歌といたしましては議決がそのままいきておるわけであります。」

### 1980(昭和55)年3月市議会

「国に国歌あり、学校に校歌あり、会社に社歌がございます…その歌を歌うときこそ、強い愛情を感じ、連帯感が生まれ発展が約束されるものと思います。そこで市の例規類集にある呉市歌(旧)を全市に啓蒙、普及をして、真に市民の歌として根付かせていただきたいと念願するものでございます。」

### 1996(平成7)年6月市議会

「私は、呉市歌に歌われる『呉市 呉市 大呉市』のフレーズが大好きだ。いつしか大呉市といわ

れる日の再訪を信じる一人だ。・・・もう一点、呉市のシンボルとして忘れてはならないもの、それは海上自衛隊と大日本帝国海軍の歴史だと思う。大日本帝国海軍の歴史を継承する海上自衛隊に、呉市と海軍の歴史を忠実に伝承してもらう努力を申し入れ、海上自衛隊と共に呉市が海軍の歴史をシンボライズする必要があると思う。将来できるであろう海事博物館(現・大和ミュージアム)はその意味において、戦争を正しく理解するための海軍の歴史を大きく取り上げてもらう必要がある。後略」

## 2000年代になると

・呉市の永年勤続職員表彰式で斉唱、異動してきた教職員の辞令交付式で斉唱などが始まり、2008年、呉市の小中学校の音楽部会で指導するようにいわれ、2009年3月の卒業式で教育長の「つよいお願い」であるからといって各学校で強制された。

※強制を表す数字・・・前年度まで「呉市歌(旧)」を歌う学校は0%、これが100%になった。

## 4 まとめ～水野甚次郎と鈴木術～

● 水野甚次郎は市役所ロビーにその胸像があります。

戦前からの市長で、1941(昭和16)年12月8日に、憲兵隊事件で逮捕されました。

戦後、鈴木登市長が退任し、市長に再任されます。その時、呉市復興計画として道路拡張をした時のエピソードを紹介します。

・昭和21年から始まった呉市の復興事業、道路の大幅拡幅が計画された。立案者は元海軍技師のS氏(斉藤弘喜当時54歳)。戦前は幹線道路(本通)で18メートル幅だったのを、呉駅前本通を36～40メートルに、本通(国道185号線)を36メートルにする計画。S氏は「日本は必ず立ち上がってアメリカの復讐する時節がくる。その時に備えて飛行機の発着場に」と市長にその意図を打ち明けた。当時はプロペラ機の時代、海軍の滑走路の基準は幅30メートルで長さ600メートルだった。水野市長は「う～ん、戦争がないという保証はどこにもない。ぜひやれ」といったそうです。(中国新聞社刊『呉空襲記』昭和50年)

※S氏や水野氏がやがて呉市政界の本流になったのでしょうか・・・

● 一方の鈴木術氏は・・・

